



## 第1回 家庭学習強化週間を終えて

メディアコントロールの取り組みについてのご理解、ご協力ありがとうございました。子どもたちのために家族みんなで取り組んでくださっている様子が分かりました。まもなく、夏休みになります。今年度は2週間という短い期間ですが、身についた学習習慣を継続できますよう、ご支援をお願いいたします。(がんばりカード「おうちの方から」)

自分のめあての中には、声かけをしないとできなかったこともあったので、今後の課題です。

宿題や自学以外の学習も進んでやっていました。習い事など忙しい日も、時間を上手に使っていました。

ゲームの時間をきちんと守ってすばらしかったです。

集中してやっていました。これからは、苦手な教科も進んでやってほしいです。

食事中にテレビを消すことができない日もありました。家族で気をつけていきたいです。

## 新しい学習指導要領 スタートしました

### 「学習指導要領」とは？

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、約10年に一度、改訂しています。子どもたちの教科書や時間割は、これを基につくられています。

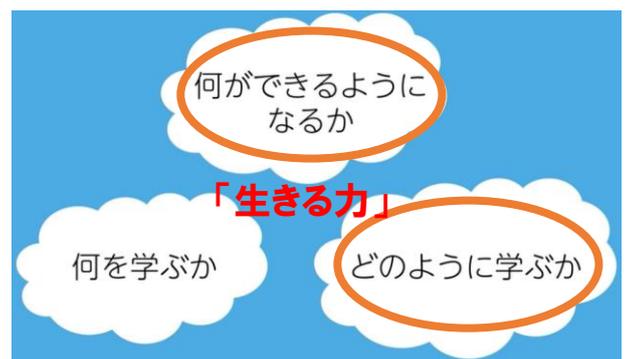
#### 変わらないこと

子どもたちの「**生きる力**」を育むことを目標としていること

その目標のために「何を学ぶか」は引き継いでいます

#### 変わったこと

「何ができるようになるか」や「どのように学ぶか」という点を重視



具体的には **外国語の教科化(5・6年)**

**プログラミング教育の導入**

下野市では、今までも3年生から「聞くこと」「話すこと」を通して英語に慣れ親しむ学習を行ってきました。5年生からは「読むこと」「書くこと」も学び、中学校へつながるよう、学習内容の定着を目指します。

プログラミング的思考力を、体験を通して育み、プログラミングでどんなことが実現できるのか、世の中とどうつながっているのかを“肌感覚”で学びます。

プログラミングといった教科が新設される訳ではなく、既存の教科等の中で実施することとなります。例えば5年生の算数「正多角形」、6年生の理科「電気の働きの制御」などです。